

平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東  
 コード番号 4748 URL <http://www.kke.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 正太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 湯口 達夫 TEL 03-5342-1142  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 平成30年3月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の業績（平成29年7月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	3,706	△7.0	△755	—	△770	—	△566	—
29年6月期第2四半期	3,985	8.5	△764	—	△813	—	△575	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	△125.30	—
29年6月期第2四半期	△132.04	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	11,247	3,012	26.8
29年6月期	10,482	3,662	34.9

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 3,012百万円 29年6月期 3,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	10.00	10.00	10.00	30.00	60.00
30年6月期	10.00	10.00			
30年6月期(予想)			—	—	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※平成30年6月期(予想)につきましては、合計で70円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしておりますが、第3四半期以降の支払額については未定であり、決定次第ご報告いたします。

3. 平成30年6月期の業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	1.2	1,200	21.1	1,140	26.0	761	23.7	183.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期2Q	6,106,000株	29年6月期	6,106,000株
② 期末自己株式数	30年6月期2Q	1,555,628株	29年6月期	1,632,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期2Q	4,521,838株	29年6月期2Q	4,355,688株

（注）株式給付信託（従業員持株会処分型）、役員株式報酬信託及び役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(持分法損益等) .....	9
3. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の当社の業績は、季節性などの要因により、売上高は37億6百万円（前年同期は39億85百万円）、営業損失は7億55百万円（前年同期は7億64百万円の損失）、経常損失は7億70百万円（前年同期は8億13百万円の損失）、四半期純損失は5億66百万円（前年同期は5億75百万円の損失）となり、前年同期と比較して減収増益となりました。一方で、受注残高につきましては、前年同期を下回る66億5百万円（前年同期は69億39百万円）を確保しておりますが、その利益性に関しては改善しており、当事業年度末に向けた事業活動は堅調に推移しております。

当第2四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。各報告セグメントに関しては、2. (4) 四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）のⅡ当第2四半期累計期間（自平成29年7月1日至平成29年12月31日）もご参照ください。

## 【エンジニアリングコンサルティング】

当第2四半期累計期間においては、構造設計コンサルティング業務、住宅業界をリードするトップ企業からの差別化に向けた投資に対応するシステム開発業務及び防災・減災のための解析業務が堅調に推移しました。また、当第2四半期累計期間においては、前年同期と比較して、大型の不採算プロジェクトが存在しないため、減収となっているにもかかわらず、収益性は改善しております。この結果、エンジニアリングコンサルティング事業における当第2四半期累計期間の売上高は24億98百万円（前年同期は28億44百万円）、セグメント利益（営業利益）は1億93百万円（前年同期は1億37百万円）となりました。また、受注残高につきましては、58億33百万円（前年同期は61億28百万円）となっております。

## 【プロダクツサービス】

当第2四半期累計期間においては、設計者向けCAEソフト、クラウドベースのメール配信サービスなどの販売が好調に推移しました。一方、販売活動の活性化による営業費用の増加等、本セグメントの費用が増加しました。この結果、プロダクツサービス事業における当第2四半期累計期間の売上高は12億7百万円（前年同期は11億41百万円）、セグメント利益（営業利益）は2億46百万円（前年同期は2億71百万円）となりました。また、受注残高につきましては、7億71百万円（前年同期は8億11百万円）となっております。

以上がセグメント別の概況であります。今後も全社一丸となり、年度計画の達成に向けて、受注獲得のための営業活動を重点的に行ってまいります。

当社は前事業年度より、四半期配当制度を導入しておりますが、平成30年2月13日開催の取締役会において、平成29年12月31日を基準日とした当第2四半期末配当金を、1株当たり10円とすることを決議いたしました。なお、年間配当金の予想につきましては、1株当たり70円に変更はありません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の状況

## (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて21.0%増加し、38億45百万円となりました。これは、主に現金及び預金が2億40百万円、仕掛品が7億54百万円増加する一方、受取手形及び売掛金が5億78百万円減少したことによりです。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.3%増加し、74億2百万円となりました。これは、主に投資有価証券が66百万円、ソフトウェアが18百万円増加したことによりです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて7.3%増加し、112億47百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて40.7%増加し、52億96百万円となりました。これは、主に短期借入金が21億30百万円増加する一方、未払費用が4億88百万円減少したことによりです。

固定負債は、前事業年度末に比べて3.9%減少し、29億38百万円となりました。これは、主に長期借入金が2億1百万円減少する一方、退職給付引当金が53百万円増加したことによりです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて20.8%増加し、82億34百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて17.7%減少し、30億12百万円となりました。これは、主に利益剰余金が7億58百万円減少したことによりです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、6億51百万円（前年同期比37百万円増加）となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、12億32百万円（前年同期比3億37百万円の支出増）となりました。主な要因は、税引前四半期純損失7億71百万円、売上債権の減少額7億36百万円、たな卸資産の増加額7億55百万円、未払費用の減少額4億88百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、2億26百万円（前年同期比67百万円の支出減）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出74百万円、有形固定資産の取得による支出75百万円、無形固定資産の取得による支出50百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は、16億98百万円（前年同期比2億83百万円の収入増）となりました。主な要因は、資金の流入では短期借入金の純増額21億30百万円、資金の流出では長期借入金の返済による支出3億93百万円、配当金の支払額1億90百万円であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	411,227	651,414
受取手形及び売掛金	1,388,180	810,043
半製品	29,349	30,723
仕掛品	549,430	1,303,592
前渡金	22,026	24,709
前払費用	483,659	472,452
その他	346,103	601,800
貸倒引当金	△52,885	△49,561
流動資産合計	3,177,091	3,845,175
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,753,578	1,751,577
土地	3,267,401	3,267,401
その他(純額)	135,493	121,672
有形固定資産合計	5,156,473	5,140,651
無形固定資産		
ソフトウェア	306,137	325,114
その他	149,514	134,224
無形固定資産合計	455,651	459,338
投資その他の資産		
投資有価証券	272,199	338,391
その他	1,422,499	1,467,646
貸倒引当金	△1,757	△3,757
投資その他の資産合計	1,692,941	1,802,281
固定資産合計	7,305,067	7,402,271
資産合計	10,482,158	11,247,447
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	249,018	241,383
短期借入金	320,000	2,450,000
1年内返済予定の長期借入金	725,659	533,125
未払金	489,859	544,403
未払費用	636,072	148,021
前受金	748,903	909,682
賞与引当金	—	298,978
役員賞与引当金	—	37,341
受注損失引当金	150	241
その他	593,514	133,444
流動負債合計	3,763,177	5,296,620

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,095,235	893,769
株式報酬引当金	—	15,951
退職給付引当金	1,816,712	1,870,118
役員退職慰労引当金	40,000	40,000
資産除去債務	41,411	54,596
その他	63,023	63,706
<b>固定負債合計</b>	<b>3,056,381</b>	<b>2,938,142</b>
<b>負債合計</b>	<b>6,819,558</b>	<b>8,234,762</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,279,603	1,335,094
利益剰余金	3,371,213	2,613,158
自己株式	△2,020,748	△1,969,786
<b>株主資本合計</b>	<b>3,640,268</b>	<b>2,988,665</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	22,331	24,018
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>22,331</b>	<b>24,018</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,662,600</b>	<b>3,012,684</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,482,158</b>	<b>11,247,447</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,985,566	3,706,599
売上原価	2,435,182	2,129,932
売上総利益	1,550,383	1,576,666
販売費及び一般管理費	2,314,871	2,332,478
営業損失(△)	△764,487	△755,811
営業外収益		
受取利息	32	13
有価証券利息	-	1,013
受取配当金	1,498	1,510
未払配当金除斥益	819	1,399
その他	1,000	2,180
営業外収益合計	3,352	6,118
営業外費用		
支払利息	15,884	15,232
コミットメントフィー	4,798	4,916
関係会社出資運用損	20,194	0
その他	11,166	1,022
営業外費用合計	52,043	21,171
経常損失(△)	△813,179	△770,865
特別損失		
固定資産除却損	-	324
特別損失合計	-	324
税引前四半期純損失(△)	△813,179	△771,189
法人税、住民税及び事業税	4,354	4,214
法人税等調整額	△242,407	△208,808
法人税等合計	△238,052	△204,593
四半期純損失(△)	△575,127	△566,596



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△813,179	△771,189
減価償却費	112,729	129,629
退職給付引当金の増減額(△は減少)	57,498	53,406
受注損失引当金の増減額(△は減少)	13,883	91
賞与引当金の増減額(△は減少)	346,765	298,978
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	37,341
受取利息及び受取配当金	△1,531	△2,537
支払利息	15,884	15,232
売上債権の増減額(△は増加)	752,428	736,916
たな卸資産の増減額(△は増加)	△500,129	△755,536
前払費用の増減額(△は増加)	20,194	△1,987
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,711	6,505
未払金の増減額(△は減少)	49,235	27,481
未払費用の増減額(△は減少)	△503,824	△488,051
その他	△288,007	△387,573
小計	△764,765	△1,101,295
利息及び配当金の受取額	1,531	12,383
利息の支払額	△16,113	△14,166
法人税等の支払額	△115,429	△129,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	△894,776	△1,232,352
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△22,074	△75,119
無形固定資産の取得による支出	△180,738	△50,462
投資有価証券の取得による支出	△9,400	△74,500
関係会社株式の取得による支出	△17,310	—
関係会社出資金の払込による支出	△59,129	—
その他	△5,262	△26,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,915	△226,391
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,900,000	2,130,000
長期借入金の返済による支出	△359,152	△393,999
自己株式の取得による支出	△30,646	△112,659
自己株式の処分による収入	151,200	282,942
配当金の支払額	△234,862	△190,982
リース債務の返済による支出	△10,763	△16,397
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,415,775	1,698,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	621	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	227,705	240,186
現金及び現金同等物の期首残高	385,747	411,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	613,452	651,414

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,844,406	1,141,160	3,985,566	—	3,985,566
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,844,406	1,141,160	3,985,566	—	3,985,566
セグメント利益又は損失 (△)	137,945	271,751	409,697	△1,174,184	△764,487

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,174,184千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,498,710	1,207,888	3,706,599	—	3,706,599
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,498,710	1,207,888	3,706,599	—	3,706,599
セグメント利益又は損失 (△)	193,359	246,084	439,443	△1,195,255	△755,811

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,195,255千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年12月31日)
関連会社に対する投資の金額	364,071千円	364,071千円
持分法を適用した場合の投資の金額	344,621千円	313,498千円
	前第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	△19,909千円	△31,123千円

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	2,054,836	94.1
プロダクツサービス	829,166	114.4
合計	2,884,002	99.2

- (注) 1. 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	4,104,491	86.2	5,833,699	95.2
プロダクツサービス	986,062	100.2	771,583	95.1
合計	5,090,554	88.6	6,605,282	95.2

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	2,498,710	87.8
プロダクツサービス	1,207,888	105.8
合計	3,706,599	93.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。